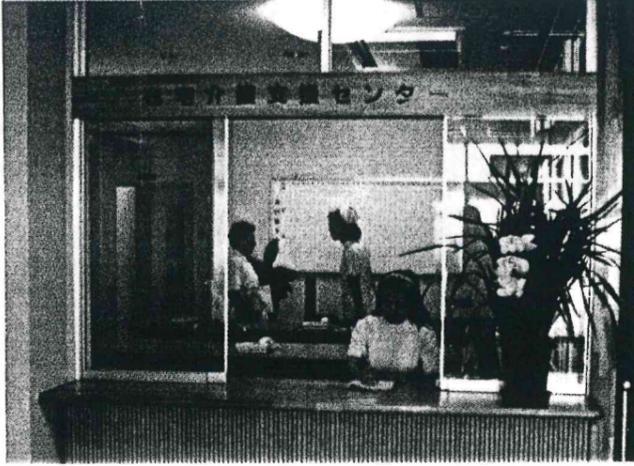


発行 あすなろ園 家族会 倉敷市玉島勇崎 しあわせの里 あすなろ園内 (086) 528-3110

しあわせの里高齢者福祉センタースタート 在宅介護支援センター竣工



地域高齢者の福祉センターとして機能する一環として、平成五年三月二十日、あすなろ園内に、あすなろ園在宅介護支援センターがオープンする事になった。この施設は倉敷市内で、四ヶ所目、玉島地区では初の開設である。在宅の寝たきり老人等の介護者に対し、相談に応じ、各種の保健、福祉サービスが総合的に受けられるよう各種機関との連絡調整等を行い、地域の要介護老人及びその家族の福祉向上を図ることを目的としたものである。

社会福祉法人松園福祉会 理事長 中塚正人

平成三年十一月一日特別養護老人ホームあすなろ園が開園して一年五ヶ月が過ぎようとしております。一〇〇%離床と「和顔愛語」とらしい顔を心から施しやさしい言葉かけを園の基調として明るい施設を目ざして今日を迎えました。お蔭をもちまして地域の皆さんの温かいご支援を頂き順調に推移いたしております。松園福祉会は、これから超高齢化社会を迎えて地域の高齢者の総合福祉センターとして、施設と地域が密接に連携を図りながら在宅高齢者の実態に合わせた木目細かい介護を支援していかねばならないと考

えております。この度施設の中庭を改造し倉敷市の援助をいただき、在宅介護支援センターが竣工の運びとなりました。在宅介護支援センターは、厚生省は各中学校単位に一ヶ所程度建設したいとシルバードールプラン十ヶ年戦略として打ち出しております。当園では積極的にこのプランを進める為にお年寄りを家で介護されている家族や一人暮らしや老人だけの家族の実態を調査し、適切な指導や介護を支援してまいりたいと思っております。その為に受け皿として当園のサービス事業の強化を図っていかねばなりません。

現在行っておりますデイサービス、ショートステイ事業以外に入浴サービス、給食サービス、看護相談、ホームヘルプ事業や将来の高齢者福祉のニーズの多様化が進むにつれデイホームケアやナイトケア等かんがえております。又施設面では、痴呆専用特別養護老人ホームも必要になってまいります。いずれにしても在宅介護支援センターの役割は極めて重要であり、ボランティアや地域の皆様のご理解とご支援をいただきながら地域の高齢者福祉センターとしてしあわせの里創りにその役目を果たして参りたいと存じます。

地域高齢者の皆さん デイ・サービスセンターへどうぞ

お茶を飲みながら 折り紙を楽しむデイサービス利用者



あすなろ園デイ・サービスセンターは、自宅で生活するおおむね六十五歳以上の方に、送迎バスによりご来園いただき、入浴、食事、健康チェック、生活指導、日常動作訓練、養護、家族介護者教室等のサービスを提供し、より豊かでいきがいのある生活を送っていただくための施設です。利用は一週間に一日で、利用料金は一日八〇〇円。毎日地域の大勢の方でにぎわっており、囲碁、将棋、お茶、折り紙、クラフト、ゲートボール、陶芸、カラオケ等の趣味の時間は特に人気がある。あなたもあすなろ園で友達の輪を広げて下さい。

中国からのお客様

平成四年十二月七日、中国、文化教育代表団一行三十名が、あすなろ園を訪れた。これは国際協力事業団の交流事業の一つで、中国の行政、文化、教育に携わる若いエリート達が、西日本各地を一カ月間滞在し、日本との親善を深めたもの。あすなろ園では、日中兩國

毎週生け花奉仕を続けて下さる 浅原二三江先生



ボランティアの皆さん ありがとうございます

奉仕回数に関係なく記載させていただきました。

自 平成四年九月二十八日 至 平成五年二月二〇日 (あいうえお順 敬称略)



中国文化教育代表団

- List of names and addresses of volunteers: 愛 愛子 (玉島乙島), 浅野須美子 (玉島柏島), 上野幸子 (玉島阿賀崎), 小野シズコ (玉島柏島), 上野三澄里 (玉島阿賀崎), 小野鶴子 (玉島柏島), 大平君子 (玉島), 小野安子 (玉島阿賀崎), 大本ユキ (玉島柏島), 片山文子 (玉島乙島), 岡川千賀子 (綾歌郡国分寺), 川本清子 (玉島柏島), 岡田正二 (玉島長尾), 川畑美治子 (玉島柏島), 岡部洋子 (玉島柏島), 金藤とし子 (玉島中央町), 岡 照恵 (玉島阿賀崎), 小林悦子 (玉島柏島), 小林正彦 (玉島阿賀崎), 小室美枝 (玉島柏島), 上野福一 (玉島阿賀崎), 小田春子 (玉島柏島), 小野笑子 (玉島柏島), 井頭朋子 (玉島柏島), 真田奈緒子 (玉島柏島), 中塚正男 (玉島長尾), 末吉和子 (玉島柏島), 難波喜代子 (玉島爪先), 須賀市郎 (玉島乙島), 秦 みゆき (玉島乙島), 須賀静枝 (玉島乙島), 原田カオル (玉島乙島), 宗田久恵 (玉島柏島), 原田芳子 (玉島阿賀崎), 高越信子 (玉島阿賀崎), 西山ヒサエ (玉島柏島), 高橋アヤ子 (玉島柏島), 難波重子 (玉島爪先), 西井光子 (玉島柏島), 畑中麻佐子 (玉島柏島), 新井垣こと (玉島柏島), 原田智子 (玉島黒崎), 原 善子 (玉島柏島), 久木愛子 (玉島阿賀崎), 原田雅子 (玉島黒崎), 平松淑子 (玉島柏島), 姫井洋子 (玉島八幡), 真尾弘子 (玉島柏島), 松本慶子 (玉島), 森本奈々 (玉島柏島), 森田静子 (玉島男崎), 横田 廣 (玉島男崎), 山田幸子 (玉島乙島), 松田公子 (金光町), 若狭光子 (玉島黒崎), 村上鈴子 (玉島柏島), 森分広子 (玉島柏島), 横溝正枝 (玉島上成), ヘアサロン「あかり」 (倉敷西阿知), 「マサコ」B.S (倉敷連島), 「てまり会」 (倉敷西阿知), 上野麗子 柚木愛子 塚原 節 久本正三, 黒川 鮎子 前田君子 中塚百合子 虫明かつえ, 小野加代子 森永富子 大西喜久子

の国旗が掲げられ、お年寄りの国旗を掲げられ、お年寄りと交流会をもつた。中国側が日本の歌「北国の春」を歌うと皆大喜び、最後に入園者や職員が、「炭鉾節」を踊ると、中国の人も輪の中に入り、身振り手振り一つになり、楽しい交流の輪が広がった。

第二回家族会総会開催

昨年十二月十三日園内和室で家族会総会が開かれた。中藤会長の開催挨拶、中塚理事長から介護支援センターの進捗状況、今後の活用についての説明やあすなろ園で実習された高校生などから一明るい施設だ。就職したいという声の紹介があり、虫明園長から職員も全員頑張っている。地域の方やボランティアの方等も協力を惜しみ無くしてくださっています。との話、議事に入り、議題は全て満場一致で承認された。



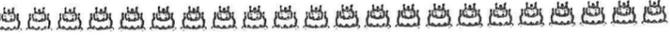
閉会後
カラオケ大会が大寺副会長司会のもと盛大に、時には入園者の方との合唱もあり楽しい一刻を過ごした。次回のカラオケ大会を希望する声も囁かれ総会を終わった。
新役員は 次の通りです。

- 会長 中藤和雄(玉島黒崎)
 - 副会長 大寺 永(玉島柏島)
 - 兼会計
 - 幹事 小野一良(玉島柏島)
 - 幹事 虫明啓子(玉島柏島)
 - 幹事 三宅利夫(倉敷福島)
 - 会計監査 小林豊成(倉敷中庄)
- どうぞ宜しくお願いします。



誕生会にゲームを楽しむ入園者

毎月の誕生会に地域の人々と交流



これまで元気で立派に生きて来られて、めでたく誕生日を迎えられた入園者をお祝いしようという開園以来月例行事として誕生会が開かれている。この日は調理員が腕によりをかけて造った特別献立が出され、寮母が手づくりの記念品を贈って祝う。また、地域の保育園や小中学生、ボランティアグループが訪れ、歌や踊りの演芸やゲームで交流する。この日の様子は玉島テレビが毎回取材してくれ、放映されるので、入園者は二回楽しむことができる。慰問して下さる方々に心からお礼申し上げます。



人園者と交流する 黒崎中学生



なれない手つきで陶芸にいとむ入園者



翌檜歌壇

入園者 三石 政雄氏作

- ◆真夜中にまど辺に月の影姿
- ◆初日の出かぞくそるって手を合わす
- ◆初春に皇太子小和田ニューースとび
- ◆梅の木にメジロ二羽きて春を呼ぶ
- ◆初まごに嫁のふるさと難送る

櫛風の日々から

じあわせの里へ

私の務め

虫明啓子

「ピーポー、ピーポー」
「ウーウー、ウーウー」
サイレンが鳴るたびに、もしかしたら我が家ではないかしらと気づかう日々でした。
九十才を越えた老父母を家に残しての勤めは心安らぐ日は一日としてありませんでした。帰宅して、二人の姿を見ると一安心。それからまた大変、洗濯機をまわしながら夕飯の支度。つい言葉が荒くなり、いらいらも募る一方でした。そして、今、両親はあすなろ

クラブでたのしむ

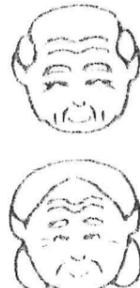
楽しい園生活の中で、クラブ活動の時間は一段と元気がよい入所者。毎週月曜日には創作クラブで絵画や手芸を地域の民生委員さんのお手伝いで楽しみます。火曜日は、陶芸クラブ、土をこねて先生の家で焼いていただき、出来上がった作品を見て感激！木曜日は、硬筆クラブ、いまさら文字の練習をしたとて、と思った人も手のリハビリと頑張り、一年前と比べ、めっきり上達。金曜日は、民謡クラブ、大きな声で歌うとストレス解消。「あれっ、うちのばあちゃん、あんなに大きな声で歌ってる」と家族もびっくり。土曜日は折り紙クラブ。季節の花や物語りを折って色紙に貼り、部屋へ飾って孫に自慢。楽しみがいっぱい。

帰って来た

しあわせ

三宅佳子

家族が健康に暮らす、これに勝る幸せはありません。しかし不幸にして家族の一人が病気になる、四六日中看病すると言うことは、なかなか大変な事です。私の家族も「あすなろ園」の方へ入園させていただき、早いもので一年が過ぎました。その間いろいろとお世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。一年を振り返り私共の心境の変化は？



園でお世話になっております。二人を家から送り出すことは本当につらいことでした。できることなら家で面倒を見てあげたい。到底できないことなのに・・・明るくて、暖かい部屋。心やさしい寮母さんや看護婦さん、園のみなさん。行き届いた三度の食事。何から何までありがたいと思えます。もったいないと思えます。でも、でも私にしかできないこと、他の人に代わっていただくことのできない自分の務めのようなものがあるように思えてなりません。週に一度がやっとですが、それもほんの短いひととき、私は自分のために、私自身のためにあすなろ園に向かいます。二人の顔を見て、ほっとやすらぐのです。

陽来福



人も組織も誕生してから大きく成長するまでに、数々の神話伝説の時代をつくってゆきます。小さな「あすなろ伝説」を皆様に紹介してゆきたいと思えます。
あすなろだより一冊を発行してから二号まで時間がかりましたが、三・四・は短期日で発行したいと思っておりますので期待下さい。
中藤和雄

◎家族の時間の余裕が出て来たので、その分心のゆとりができ、「老人の身になって考えてあげる」「やさしい心づかい」「あたたかい思いやり」という接し方にかわってきた。
◎家族の時間の束縛がなくなったので、日常生活にゆとりができた。その分子供とのコミュニケーションを円滑にすることが出来るようになった。

◎家族会で他の家族の方とも交流ができ、入園者皆が自分の家族という気持ちで一致団結して力を合わせて頑張ろうという気持ちになった。

◎盆、正月の帰省のときなど家族皆で力を合わせて老人の心を慰め励ましてあげる。そうすることによって「皆に見守られているのだ」という励みになる。